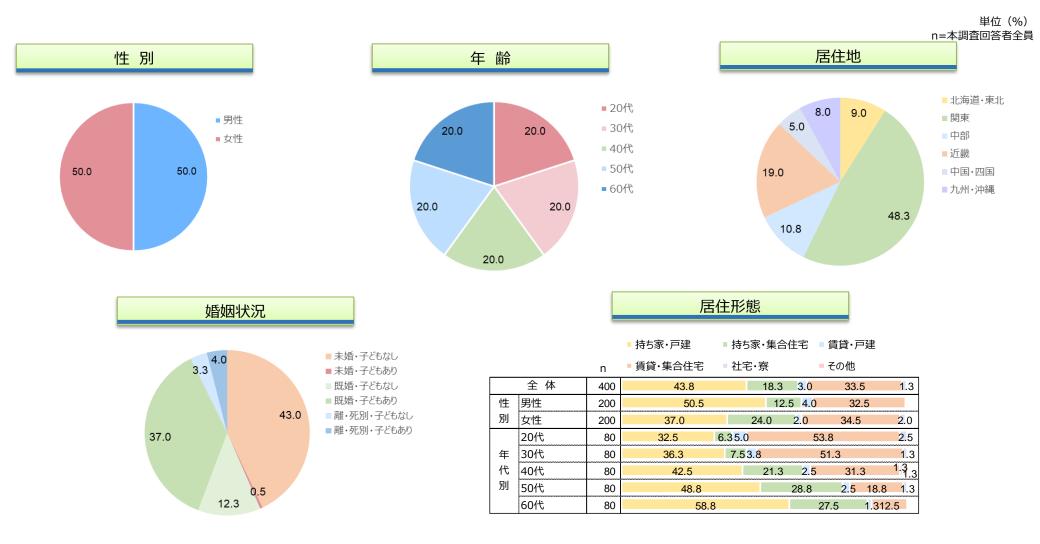
家庭のおそうじ意識調査結果 報告書

一般財団法人サニクリーンアカデミー

調査目的	生活者のおそうじ志向を把握する
調査手法	Webアンケート
対象者条件	【性別】男女
	【年齢】20代~60代
	【地域】全国
	【その他条件】
	・自宅の掃除を週1回以上行う方
回収数	本調査:400s
割付	20代 30代 40代 50代 60代 合計 男性 40 40 40 40 200 女性 40 40 40 40 200 合計 80 80 80 80 400
調査期間	2022年7月25日(月)~2022年7月27日(水)

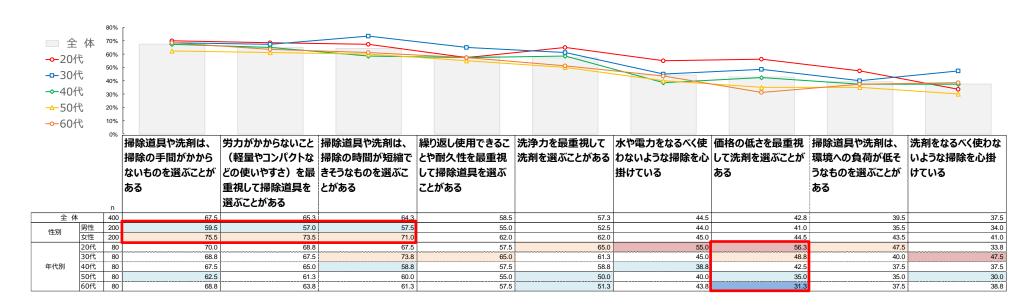


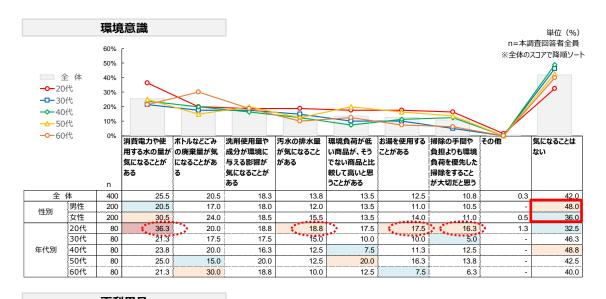
掃除全体の意識・選択TOP2は、「掃除の手間がかからないもの」「労力がかからないこと」「掃除時間が短縮できそうなもの」が上位。 上位3項目においては、男性よりも女性の割合が高く、掃除をより手軽でストレスのかからないものにしたいと感じている様子。 また、洗剤選択時の「価格の低さ」については、年代が下がるほど低価格の洗剤を選ぶ傾向がある。

> 単位(%) n=本調査回答者全員 ※全体のスコアで降順ソート

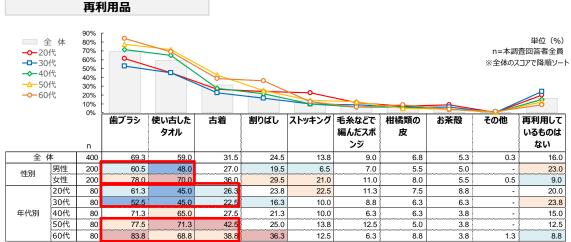
掃除全体の意識・選択TOP2

※スコアは「非常にあてはまる」+「ややあてはまる」の合計





掃除における環境意識は、「気になることはない」が4割強で最も高く、女性よりも男性で、環境意識が低い様子。20代において、「消費電力や使用水量」「汚水の排水量」「お湯を使用」「環境負荷を優先した掃除」の割合が、他の世代よりも比較的高く、環境意識の高さがうかがえる。



掃除における再利用品は、「歯ブラシ」「使い古したタオル」 が上位。

全ての項目において、男性よりも女性の割合が高く、特に 上位2項目では大きな差がみられる。また、上位3項目をみ ると、若年層よりも中高年層で使用割合が高く特徴的。

■···全体比10pt以上■···全体比5pt以上■···全体比5pt以下■···全体比10pt以下

身に付けたい掃除知識・方法は、「手間がかからない、簡単な掃除方法」が最も多く挙げられる。上位3項目において、性別でみると、男性よ りも女性の割合が高く、また、年代別でみると、50代以上で比較的高い傾向にあることから、女性の50代以上は幅広い掃除知識・方法を身 に付けたいと思っているようにうかがえる。

身に付けたい掃除知識・方法(すべて)

単位 (%) n=本調査回答者全員 ※全体のスコアで降順ソート

身に付けたい掃除知識・方法(最も)

単位 (%) n=本調査回答者全員 ※全体のスコアで降順ソート

